



国立国会図書館 タイトル『福齋』 請求記号 丑-2

ガラス使用

丑
2

朝 齋 園 泉 宗
一 二 一 五
冊 号 架 函 屬 願



国立国会図書館 タイトル『福齋』 請求記号 丑-2

ガラス使用

新編

くろきりののらあへまねずまの婿りそそ
果報の者も母ふいとまかぬかむのう
めいさよびう一葉作へ新紙中交とぞやされ
けし平二神のぶ二代折羅大おとて半のり
うらとくふさち矢と持らる老人もく見のそ
中されりらハびり一飢饉をくされ新紙めさ
まらる例のいや例るれ事かすくじ新紙な
ふ事じやくぬもぞやされりも二神あ人十二神
のぶ三迷全羅大おとて賞のかくらとて
ざん符とらる老人も新紙の事かすも。

新編

事のちあふらるるへくもされりる度中
むし。かふ回着くもくはくは常思羅大おさわ
らる某。義皮さく落中へ人王三十二代用の
天皇の御宇よりこ某。代々の記録秘すもて紙
外くられぬ事くもくはくは飢饉饑死の事
人王五十九代 宇多院御宇 寛平元年
人王八十一代 安徳天皇御宇 養和元年
人王一百一代 後小松院御宇 應永十三年
人王一百三代 後花園御宇 文安五年
人王一百五代 後柏原御宇 永正元年



胤禛。まへに。麟死し。そのの春。属。あす。まで。胤
禛。よと。ぶ。の。金。ぬ。は。づ。ら。に。納。め。ん
浦。ふ。一。と。事。や。い。づ。ら。人。も。な。ら。り。の。事。
浦。の。あ。へ。の。百。十。に。は。ら。ど。ら。ぞ。や。け。し。か。
つ。け。つ。あ。ま。あ。る。屋。より。様。の。か。ら。ら。と。い。て。ぶ。い。ぬ。
と。持。磨。虎。殿。大。お。と。と。さ。う。い。び。ち。り。仁。の。で。を
ま。ひ。宮。恩。羅。大。お。も。行。と。な。び。の。さ。い。ぞ。む。い。
し。り。宗。廟。の。り。事。後。は。ひ。の。あ。ふ。と。や。ま。
又。徳。天。皇。の。あ。り。さ。う。大。妻。の。は。大。枝。と。あ。そ。く。
く。と。い。ま。ま。と。や。り。ひ。の。権。仁。は。兄。弟。

胤禛。まへに。麟死し。そのの春。属。あす。まで。胤
禛。よと。ぶ。の。金。ぬ。は。づ。ら。に。納。め。ん
浦。ふ。一。と。事。や。い。づ。ら。人。も。な。ら。り。の。事。
浦。の。あ。へ。の。百。十。に。は。ら。ど。ら。ぞ。や。け。し。か。
つ。け。つ。あ。ま。あ。る。屋。より。様。の。か。ら。ら。と。い。て。ぶ。い。ぬ。
と。持。磨。虎。殿。大。お。と。と。さ。う。い。び。ち。り。仁。の。で。を
ま。ひ。宮。恩。羅。大。お。も。行。と。な。び。の。さ。い。ぞ。む。い。
し。り。宗。廟。の。り。事。後。は。ひ。の。あ。ふ。と。や。ま。
又。徳。天。皇。の。あ。り。さ。う。大。妻。の。は。大。枝。と。あ。そ。く。
く。と。い。ま。ま。と。や。り。ひ。の。権。仁。は。兄。弟。



一、寛永十年申の月。蔭のりぞ
ひぜん蔭のりぞ。ひぜん蔭のりぞ
ひぜん蔭のりぞ。ひぜん蔭のりぞ。
同。一、寛永十四年に西國肥前。吉川支丹
のりぞ。蔭のりぞ。蔭のりぞ。蔭のりぞ。
十八年の比。伊は交。竹と作。ひぜん蔭のりぞ。
と作。ひぜん蔭のりぞ。ひぜん蔭のりぞ。ひぜん蔭のりぞ。
ひぜん蔭のりぞ。ひぜん蔭のりぞ。ひぜん蔭のりぞ。ひぜん蔭のりぞ。
ひぜん蔭のりぞ。ひぜん蔭のりぞ。ひぜん蔭のりぞ。ひぜん蔭のりぞ。

福齋

一、寛永十年申の月。蔭のりぞ
ひぜん蔭のりぞ。ひぜん蔭のりぞ。ひぜん蔭のりぞ。
同。一、寛永十四年に西國肥前。吉川支丹
のりぞ。蔭のりぞ。蔭のりぞ。蔭のりぞ。
十八年の比。伊は交。竹と作。ひぜん蔭のりぞ。
と作。ひぜん蔭のりぞ。ひぜん蔭のりぞ。ひぜん蔭のりぞ。
ひぜん蔭のりぞ。ひぜん蔭のりぞ。ひぜん蔭のりぞ。ひぜん蔭のりぞ。
ひぜん蔭のりぞ。ひぜん蔭のりぞ。ひぜん蔭のりぞ。ひぜん蔭のりぞ。



あ
ら

ぞ。ちの黒のつら。今の肌履より。宮思殿大おの
春属。秘ぎ。想中より。我未。おす。何云。い。一
ゆ。の。交。仇。喝。よ。及。中。軍。御本尊。様へ。祈。祈。
一。わけ。ゆ。為。悲。と。あ。ら。ら。入。ら。ま。い。や。め。某。
たの。ま。れ。業。ゆ。我。あ。も。け。神。の。瘦。お。ら。ら。人。は。能。
あ。ゆ。の。理。え。も。や。ま。い。あ。そ。れ。如。ま。に。我。我。や。
ゆ。業。師。道。大。黒。云。ハ。日。法。杖。植。る。せ。ゆ。方。役。ハ。如。
何。め。それ。や。常。に。志。つ。る。秘。云。と。う。け。ぬ。ぬ。り。つ。た。
くり。お。う。ま。し。ら。物。の。い。び。り。で。あ。た。ま。入。大。黒。
の。い。こ。び。の。い。た。ら。ま。い。と。い。ふ。や。ゆ。い。よ。今。ま。で

福齋

命。な。り。人。の。教。へ。ま。ま。り。あ。や。の。世。間。肌。履。に。か
つ。我。あ。よ。が。く。仏。餉。と。ら。ま。や。お。ら。ら。わ。ら。り。の。と
の。が。食。と。ら。ら。つ。お。毎。日。必。某。に。そ。ら。入。や。ゆ。い。れ
も。物。々。に。あ。り。斗。ら。ま。や。ゆ。い。れ。と。某。食。の。と
一。ゆ。や。ら。ら。ゆ。く。ご。あ。り。な。さ。れ。や。ゆ。い。れ。白。中。一。の。海
鼻。う。て。ゆ。た。な。い。で。造。物。と。で。ら。や。う。殺。ぐ。一。
え。い。山。中。堂。の。業。師。も。某。よ。く。ゆ。い。れ。一。か
それ。ゆ。日。枝。山。と。傳。教。大。師。桓。武。云。皇。延。暦。の
法。師。建。立。な。さ。れ。比。叡。山。と。号。し。た。ま。し。時。傳。教
大。師。の。ま。ま。り。れ。像。と。三。面。の。あ。つ。ま。い。ゆ。い。れ。一。海



○

ありてめびなり。人間ハ中ハにまよづす。人倫。
ちりこはまの半。大猫。扇。までと。飢饉。
如侍の金。知。て。収。び。ん。だ。世。界。の。老。う。か。
し。と。あ。る。こ。の。卵。か。う。殺。生。は。わ。を。づ。す。事。
や。と。い。う。こ。の。智。あ。る。人。の。心。は。わ。り。す。ら。
飢饉。と。云。事。天。地。人。の。三。災。と。て。三。つ。り。た。こ。
ゆ。者。也。今。の。飢饉。ハ。三。つ。の。こ。の。ひ。あ。り。ど。ん。
る。事。と。い。道。め。く。した。ま。ふ。事。の。天。罰。の。な。ま。と。あ。
かり。それ。天。の。さ。ら。と。う。た。ま。ふ。金。知。り。つ。
て。い。ふ。事。の。あ。り。縁。か。り。賤。力。な。が。く。も。金。知。

○

何

り。ら。ち。る。老。い。こ。が。氏。系。置。と。も。す。れ。家。ま。い。
ま。さ。に。け。り。り。切。石。と。城。郭。の。ご。く。け。い。を。あ。
と。い。う。三。階。を。居。間。と。か。ま。け。り。り。わ。に。築。地。
舞。繪。と。ま。け。り。り。を。れ。け。り。り。山。泉。あ。り。海。石。山。
石。と。立。な。し。べ。舞。繪。か。も。と。も。あ。り。と。い。う。事。は。ま。
敷。あ。る。も。金。知。る。事。珠。珀。と。り。り。常。樂。歌。海。
の。風。あ。り。の。び。も。う。も。夜。の。ま。と。と。い。う。事。は。ま。
た。と。い。う。事。は。り。り。入。住。云。門。の。事。と。化。成。生。と。い。う。
事。の。事。は。り。り。吾。朝。の。古。事。代。く。帝。の。心。
事。の。事。は。り。り。の。事。短。冊。金。の。厚。風。は。押。さ。る。べ。



福齋

て今ながくへひつ。遠西他國も飢饉して。お
の味とひろい井と掘。葛の根とわり。牛ふる乃
てく草と喰のこせらまの物積と。昨年貢
ぐ入格とまじだ。おまの船とわんと行く。牛
馬とんも人うり。牛と常一に技持とる。百姓もこ
ごらんうけとる。集もなるひま。古人のわり。東
て。ちん食とる。ころそかる。ひり。ま。い。も。男。れ。物。
ごり。我の上系とて。人め。ち。ま。つ。親とら。
ね。さ。も。れ。呵。り。樂として。謠や舞や鞠とを
て。わ。さ。ぶ。は。階。や。な。り。り。け。る。ま。あ。と。な。ま。バ。東

福齋

山。祇園。清水。田。系。河。系。や。下。系。よ。夜。を。わ。り
一。言。り。の。夏。丸。山。双。林。寺。川。橋。相。撲。よ。毎
わ。さ。び。橋。を。小。ま。と。移。し。ひ。紅。葉。の。人。よ。暖。蔵。や
高。権。よ。と。め。り。け。る。ま。ハ。垂。火。よ。さ。ぶ。こ。り。の。修
子の。海。國。と。打。り。け。て。孫。な。が。く。食。の。ま。さ
ご。い。ん。と。ん。や。ま。や。ま。と。ん。と。ん。や。ん。や。ん。海
よ。救。と。ま。て。ご。に。紅。梅。の。こ。と。つ。け。花。う。り
ご。の。鏡。さ。や。よ。金。銀。大。小。う。り。遠。る。の。藥。ご。の
あ。綿。た。び。ね。が。い。巾。巾。で。新。く。刑。や。製。塊
の。市。新。よ。枝。の。ま。こ。樹。よ。丸。砂。珊瑚。樹。さ。び。ご。り



皇朝御紀

すしひの懸けの掛籠とてのん氏とさげ
やぬまぬいともさそりねがの破笠としてき
までぬめりし。皇系川系よたりおて施行
しつらなを念ふまじ。樂しむる者の勇れは
系も回念とばら。事しを終りけり。ま
威のしほ。ち平洋の男。うぬと回念の者。こ
る。なまなり声して。我國里か。名子とばら
どして。どののく。物終ら。く。まのバ。つ。な
樂と。あ。れ。海。の。も。ぞ。ん。も。く。や。美。國。大
國。人。は。う。い。ひ。も。も。樂。よ。修。人。だ。の。あ。く。ん

皇朝御紀

と。い。ひ。ひ。か。ま。れ。い。者。ま。ま。皇。帝。二。子。の
后。と。あ。り。め。む。ま。皇。后。淑。妃。と。て。二。人。は
愛。を。な。す。れ。海。の。政。と。た。こ。り。た。ま。ふ
ゆ。え。あ。く。え。た。ま。二。人。の。后。も。う。せ。ぬ。ま。其
後。ま。ま。の。帝。寧。王。の。后。は。じ。う。く。の。楊
貴。妃。と。り。ひ。う。り。あ。へ。り。皇。后。淑。妃。は。海
の。り。愛。も。あ。り。楊。貴。妃。が。兄。楊。國。忠。と。る。お
と。ね。軍。の。司。下。さ。る。安。福。山。は。是。と。ら。や。じ。あ。る
時。楊。國。忠。は。十。万。騎。の。兵。を。一。統。歎。と。う。ん
か。た。め。小。括。け。り。楊。國。忠。は。荒。が。ま。の。陣。と



御書

このふし生老病死のくろく
とまげのさき業のゆふわろ不老不死の業
をいひつゝ海まんくつとぬらふじきく
かつつ神のこまなつらんといりたまふ神
神。後大奥とわたりし海よよりうびたまふ
姫皇太后百千の毒の矢よして討殺しそまふ
その夜始白皇太后。後よ神と我といらん
とたまひ神いしきくかりぬまふ運命天
ふわりしりまふ。とれまふたまりぬく
ていしあつた那那といりまふ。よりぬ

り十二文のた石あり白り又まわり泰
の代りりびの代りなるべしと書く。神
皇太后。とめ。石ハ天よりと政事付人の
かすすなるべし。四方十里の内の若老の男
女一人のこまなつと切し。道よるじきり
人。とて。たむら。たむら。のたまふ。見た
まふ。と。い。り。あり。ま。思。ハ。神。國。といひ
政事。と。ま。の。恵。と。て。ぬ。ら。は。け。は。
せぬ。代り。と。目。お。な。け。し。じ。く。不。思。の。あり
文。承。二。年。の。と。ら。え。し。り。吾。人。普。船。七



福齋抄

のどく穢ありとらんども今觸子のぞむて
て。中く穢とわらんたまふ事ありあつ海と
しそ作けき。唯今なりひかしく事あり。
地多喜薩よりくろくろの喜薩のくらふ慈
悲才一なる喜薩され。佐羅陀山とて大比
丘一萬二千喜薩。三萬六千人諸天夜叉の
中一とて統めり。經よりく。十種の穢わり
一。女人奉産。二。外根具足。三。象
病悉除。四。壽命長遠。五。聰明智慧。
六。財宝盈溢。七。人畜敬。八。穀米

成熟。九。神の加護。十。證大喜提。又
擔外。一。風雨隨時。二。他國不
起。三。自界不叛。四。日月不蝕。五。
八星宿不變。六。鬼神不來。七。飢
饉不發。八。人民无病。祝めり。い
邪いぞじりや。近き乃地
觸林とゆり。ころひり入る
山科六角地
伏見油掛地
常般要地

山科六角地
桂川橋地
多野地



福齋
寛永三年

ヤウシ
通
福齋物語
作者不詳
寛永三年刊
蔵物誌
蔵物誌
蔵物誌

武勇
集
應仁
已年
秀
息

寛永二十二年五月日

大黒判



遊戯物語
著者乃
越
お
寄
手
付
ハ
猫
鼬
ノ
中
付
ハ
猫
鼬
ノ
中
付
ハ
猫
鼬
ノ
中
付



丑
2



国立国会図書館 タイトル『福齋』 請求記号 丑-2

ガラス使用



国立国会図書館 タイトル『福齋』 請求記号 丑-2

ガラス使用